真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月12日

事務事業名	いちごPR事業		担当課・係	産業部　農政課　農業振興係
政策名　No	3	「にぎわいづくり」～まちの活力アップ！～	関連するSDGs･DX	 DX
施策名　No	1	農業の振興		

成果指標	名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
	いちご生産量（JAはが野集計）	t	7337					7500
	いちご販売額（JAはが野集計）	億円	99.3					100.0

事業内容

【いちごフェスタ（いちごまつり）】
「いちご生産量日本一」という生産資源を生かし、本市の知名度アップとブランド力向上を目的とし、農・商・工業者が一体となり、平成18年度からいちごまつりを実施している。現在は、道の駅にのみや及びあぐ里っ娘でも関連イベントを同時開催（コラボ）し、いちごフェスタとして開催している。
事業主体　いちごまつり実行委員会
会場　　二宮コミュニティセンター（平成28年度～）
内容　　いちご狩り　1,500名募集、参加費　大人2,000円（中学生以上）、子ども1,000円（3歳以上小学生以下）、幼児無料（3歳未満）
　　各種模擬店及び交流イベント、いちごスイーツアイデアメニューコンテストなど
その他PR事業
・いちごシーズンにおけるいちご販売PR、首都圏や関西圏への販路拡大PR
・いちごプロモーションへの協力
・真岡グリーンツーリズムと連携したプロモーション活動の取組　等

前年度の課題（Check）

・いちごまつりのほか、関係機関と連携したいちごに関するPR事業を引き続き実施する必要がある。
・いちごまつりに事業が偏っているので、栃木県や真岡グリーンツーリズム推進協議会等と連携したプロモーション活動によるいちごPRの推進を強化する必要がある。

7年度振り返り

【1】実績（Do）７年度に実施した事業
・5/18（日）第17回真岡いちごフェスタ（真岡いちごまつり2025）を開催。いちご狩り申込人数：2,058人
今年度から新たな取り組みとして、いちごを使ったオリジナルメニューのレシピを募集し、イベント当日の来場者投票でグランプリを決定する、いちごスイーツアイデアメニューコンテストを実施。
また、サテライト会場の道の駅にのみやとあぐ里っ娘との来場者の回遊性を高めるため、スタンプラリーとオリジナル缶バッチプレゼントイベントも実施。
・いちごPRの実施　秘書広報課シティープロモーション係と連携したPR、真岡グリーンツーリズム推進協議会によるプロモーション活動の推進。商工観光課と連携したいちご販売等PR（東京スカイツリー栃木県アンテナショップ）。県と連携したいちごSLなどへの支援等。首都圏や関西圏へのいちごの販売促進PR。
・真岡グリーンツーリズム推進協議会との連携によるいちごの直売
　R7.12.24　マチナカいちご直売会（monaca西側エントランス）
　R8.3.15　もおかぴょんのいちごもぐもぐマルシェ（五行川河川緑地RIVER＋）

【2】結果と課題（Check）
・いちごまつりでのいちご狩りにおいて、近年の温暖化により、協力農家ごとのいちごの提供状況（量や質）にばらつきが生じている。
・物価高騰の影響により、いちご狩りシャトルバスの委託料等も高騰している。また、資材費の高騰等により、いちご狩りハウス提供者への協力金の増額についても検討する必要がある。
・いちごまつりの物品（看板等）の他、その他のイベントにおいても利用される備品（丸椅子、折り畳み机等）なども、経年劣化により破損が目立つため、今後も引き続き計画的に更新していく必要がある。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　■ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　□ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと
令和8年5月17日（日）に開催する真岡いちごまつり2026において、募集定員をこれまでの1,500名から1,300名に変更することで、いちご狩り参加者の満足度を向上する。
サテライト会場との回遊性向上に向け、スタンプラリーやオリジナル缶バッジ作成イベントの実施（R7～）。
新たなイベントとしていちごスイーツアイデアメニューコンテストの実施（R7～）。
栃木トヨタいちごクラウン展示及びPRブース設置（R8新）
いちご王国とちぎPR用モザイクパネルの設置（R8新）
顔出しパネルの設置（R8新）
こどもふれあいコーナーの設置（いちごの折り紙釣り、けん玉、塗り絵など）（R8新）

（2）長期的な計画で検討すること
・物価高騰の影響により、いちご狩りシャトルバスの委託料等も高騰している。また、資材費の高騰等により、いちご狩りハウス提供者への協力金の増額についても検討する必要がある。
・いちごまつりの物品（看板等）の他、その他のイベントにおいても利用される備品（丸椅子、折り畳み机等）なども、経年劣化により破損が目立つため、今後も引き続き計画的に更新していく必要がある。
・令和10年度の20回目の節目の開催に合わせ、記念イベントやいちご狩りの拡大などを検討する。
・引き続き、関係機関（商工観光課や県、グリツリなど）と連携したいちごに関するPR事業を実施する。